

7月23日 (7日目)

今日はツェルマツトからバスでハイジの里マイエンフェルトを経て、アルブラ線の氷河特急に乗り換えてサンモリッツまで移動します



前々日と前日の朝焼け観賞は霧がちこめ何も見えず、今日もだめなら寝不足解消のため、寝ていることにすると、同室の吉野さんに伝えておいた。朝方吉野さんが出かける用意しているので、聞いてみると星空で天気がいいということで、起きだし、前日のビューポイントまで吉野さんと一緒に出かける。まだ日の出には間があったが、雲一つないマッターホルンが見えた



以下の写真は時系列でのマッターホルンの朝焼けの様子です 先端が少し赤みを帯びてきて



はっきりと先端に朝日があたり始めたのがわかる



先端が焼き入れしているように赤く染まりました



だんだんと先端から中腹へと 色は赤味が薄れて



周囲の山々にはまだ日が当らず マッターホルンだけが浮かび上がります 感動的な天体ショーでした。このような天気
に恵まれるのはよほど幸運なことで見学できたことを喜びました



ビューポイントの橋の上で

とにかく大勢が来ていましたが、ほとんどが日本人観光客
200人くらいは居たのでは





ツェルマツトからマイエンフェルトまで235km 高速道路ではない 山道の235kmは時間もかかり、乗っているだけでも大変です 思い思いの席にゆったり乗って行ける点と車窓には綺麗な景色があるので退屈はしませんでした

途中フルカ峠(2431m)を越える



屏風のような山肌のつづら折りの道が続きます大型バスで登るバス後部は空中にはみ出るのでスリル満点



どのアングルでも絵になる景色が続きます予期せず決まった旅行日程でしたが、スイスが最も綺麗になる季節に来てまた雲一つない日和に合い夢見心地でした



この石垣の上は道路です



氷河で形成された谷間 その先端にはローヌ氷河が見えた



雲一つない天気で普段見えない遠くの山まで見えるようでこの山々が分からないと言う（運転手もガイドも）





フルカ峠にて



野生のマーモットが人を恐れず食べるのに夢中 このマーモットは人慣れしていました



ローヌ氷河 温暖化で随分後退したという



フルカ峠登るのもスリルがあるが下りもまたそれ以上にスリルがあります



麓のリアルプの村



ソーセージ料理という昼食



マイエンフェルトのハイジの家（ハイジは創作なので仮想の家ですがこの家はハイジ博物館となっている）



日本のアニメと原作の二つの顔がありました



テレビの“アルプスの少女”は子供が幼児期の頃に一緒に毎週欠かさず見ていたのでイメージが合っていることに少し吃驚





世界の子供達の寄付で設立したという“ハイジの泉”にて



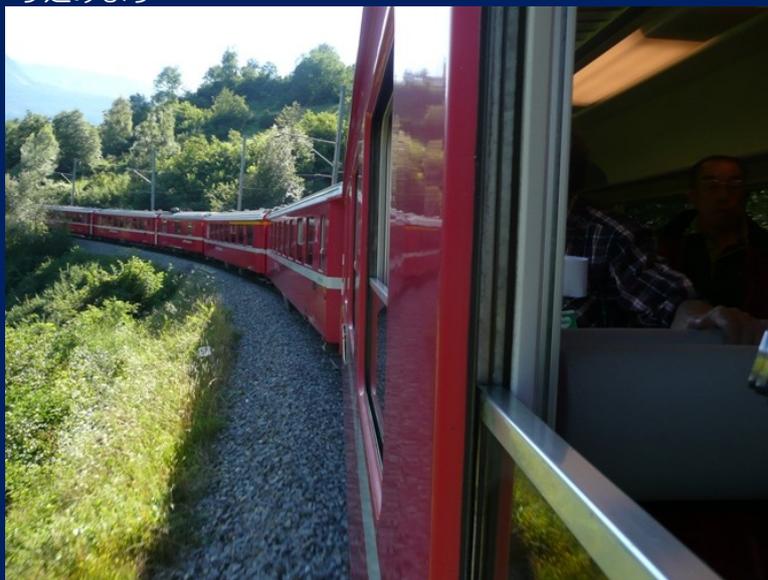
ティーンフェンカステで待望の氷河特急 これがパノラマ車 我々はパノラマでない車両 その方が窓を開けて、綺麗な写真が撮れるのだそうです



世界で一番遅い特急を待ちます 一時間に1本程度 単線のんびりした鉄道駅風景でした



我々の乗車する氷河特急がやってきました 旅行社予約という張り紙が車両に貼ってありますので、それを探して乗り込みます



この橋が世界遺産ランドヴァッサー橋 65m高さというカメラの放列



なかなか旨く撮れない



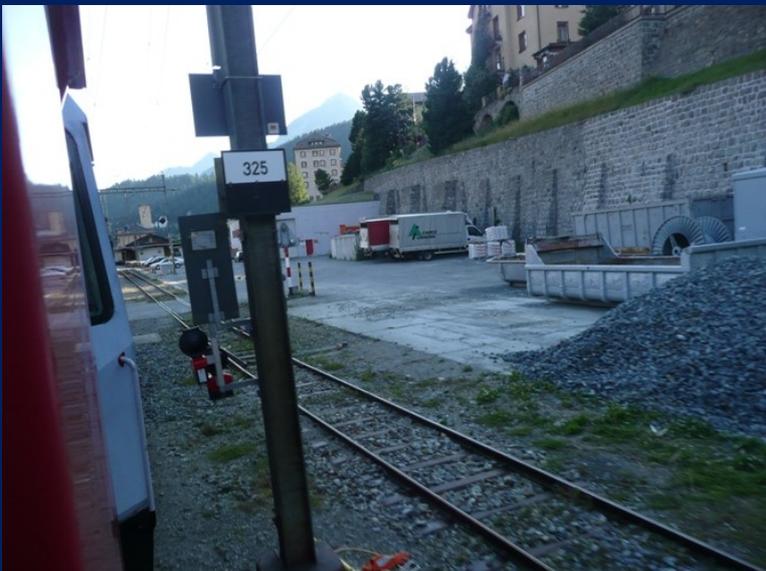
これが一番良く撮れているかな



サンモリッツまで約1000m登る



途中ループ式のトンネルに何回も通過しながら高度を上げていきます。



サンモリッツにやっと着きました。



それにしても今日は一日中 お天気でした サンモリッツ
は避暑地 暑くもなく寒くもなく
そういえばスイスは風がないのか一度も風を感じたことが
なかった